

# 再生可能な資源「木」を活かして 持続可能なビジネスを 展開しています

日本製紙グループは、再生可能な資源「木」を活用して多彩な製品を社会に供給しています。  
持続可能な社会の構築が求められるなか、本業を通じてその構築に貢献しています。

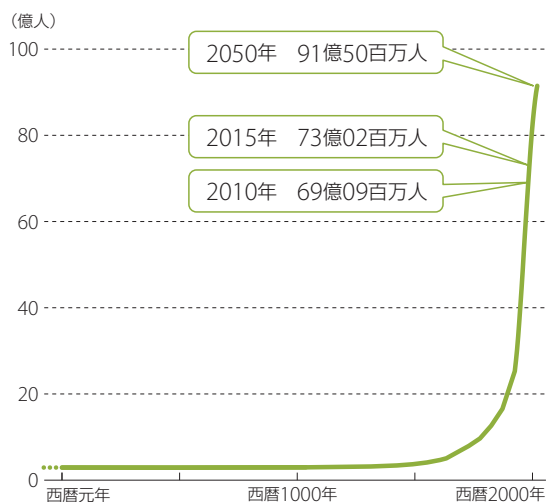
世界人口が増え続けるなか  
求められる

## “持続可能な発展”

1900年には約20億人であった世界人口は、ここ100年で急増し、2011年中には70億人を超える見込みです。また、文明の進化とともに一人当たりが環境に与える負荷は大きくなっており、急激な人口増加と相まって地球環境は加速度的に悪化しています。

私たち人類が過剰な消費を続けることは、将来の世代に、資源枯渇など負の遺産を背負わせることとなります。今、地球の未来のために「持続可能な発展」が求められています。

### 世界人口の推移と今後の見通し



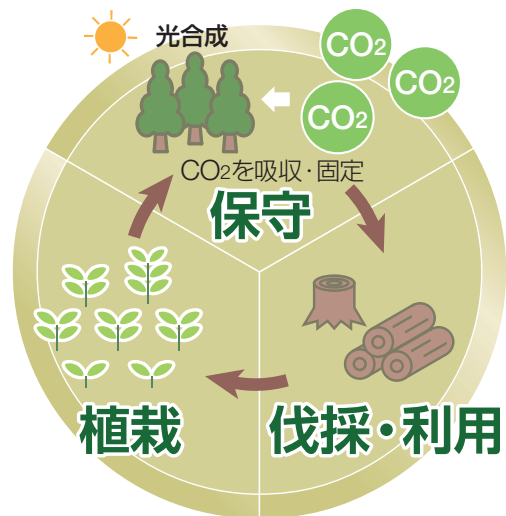
※ 国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2010)」のデータをもとに作成

持続可能で地球温暖化防止にも有効な

## “森林資源の利用”

「持続可能な発展」のための方策として期待を集めるのが、再生可能な資源の利用です。これは、石油などの限りある資源ではなく、太陽光や風力、そして「木」をはじめとしたバイオマスなどを利用して地球の負担を減らそうというものです。

再生可能な資源の中でも「木」は、紙や建材などの「素材」に加え、バイオマス発電などの「エネルギー」としても利用できる有用な資源です。また、生長過程でCO<sub>2</sub>を吸収・固定することで地球温暖化防止にも貢献します。森林を適切に管理し持続可能なかたちで利用することが、地球の未来につながります。





# “森林資源”を活かした 多彩な製品を提供する日本製紙グループ

紙の機能である書く・包む・拭くを活かす「紙」「パッケージング」「ヘルスケア」事業、  
建築材として木材を活用する「木材・建材」事業、  
木材成分を有効利用した機能性材料などの「化成品」事業、  
そしてエネルギー利用など、「木」を軸に幅広い事業を展開しています

